

「富山・金沢こどもサミット」の開催について

1. 名称：富山・金沢こどもサミット
2. 日程：令和5年3月19日(日)午後
3. 会場：金沢市文化ホール
※富山市会場（パレブラン高志会館）とオンラインで接続して合同開催
4. 参加者：各金沢市立中学校の代表生徒 計24名
5. 内容：
 - ・ よりよい未来を生み出すために子どもたち自身が今後行動していくことについて、宣言書としてとりまとめ、採択する。
 - ・ 両県5つのグループを作成し、両県共通のテーマのもと議論を進め、当日会場をオンラインでつなぎ、発表・意見交換を行う。
 - ・ 2月以降、参加者による事前勉強会を行い、3月19日の本番に向けて、両市中学生の交流、SDGsの取り組みや国内外の情勢等について勉強しながら議論を深めていく。

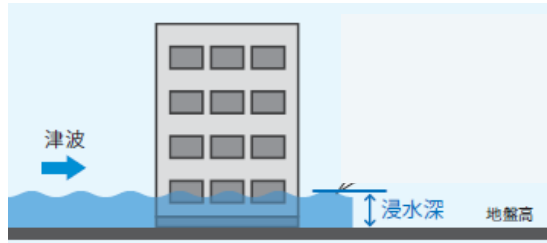
津波対策の強化について

○これまでの津波対策の取り組み

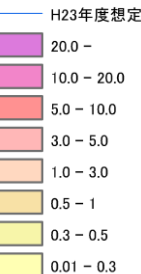
○東日本大震災による甚大な津波被害を踏まえ、津波の影響を広く周知する「津波浸水想定区域図」を作成・公表。（H24.3作成、H29.5見直し）

⇒各市町では、住民の迅速、的確な避難に繋がる津波ハザードマップを作成し、避難訓練等を継続的に実施。

津波浸水想定区域図



浸水深 (m)



1/25,000

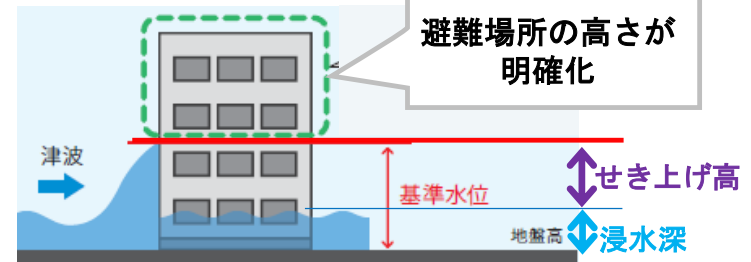
○新たな津波対策の取り組み

○能登地方において一連の地震活動が続き、海域を震源とする地震も発生していることから、今年度、津波による影響をよりきめ細かく表記した区域図に置き換えた「津波災害警戒区域」の指定を進める。（R5.3予定）

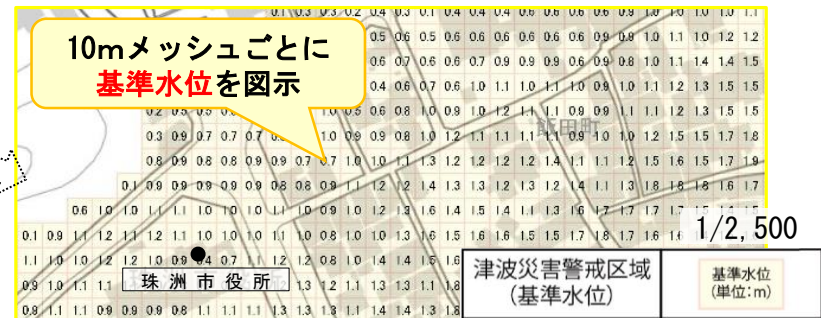
○指定後は、県・市町の地域防災計画に反映し、各市町の津波ハザードマップの見直しを進め、津波対策の強化に取り組む。

⇒津波災害警戒区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成
⇒不動産取引時における重要事項説明など

津波災害警戒区域 (イエローゾーン)



10mメッシュごとに
基準水位を図示



令和5年1月27日
畜産振興・防疫対策課長 大橋
外線：225-1625（内4700）

高病原性鳥インフルエンザ発生予防に係る 一斉消毒の実施について

今シーズンは、高病原性鳥インフルエンザが、1月26日までに、25道県66事例の発生が確認されており、過去最高となっている。

県としては、これまで、11月、12月と2回にわたり、県独自の高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策として、県内すべての養鶏場等における消石灰散布による一斉消毒を実施した。

こうした中、全国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえ、国から県に対して一斉消毒の実施について要請があったことから、次のとおり実施する。

- 1 県内すべての養鶏場等への消石灰散布による一斉消毒を、3月末までにさらに3回（今年度は計5回）実施することとし、3回目を本日1月27日から開始
- 2 各養鶏場の周辺1km圏内のため池等のうち、カモ類等の野鳥の生息が確認された3か所について、それらの周辺道路への消毒によるウイルス拡散の防止を図るため、消毒液等の散布を2月から3月にかけて計5回実施

●報道機関へのお願い

養鶏場などにおける消石灰散布に関する取材は、高病原性鳥インフルエンザの発生を引き起こす恐れがあることから、厳に慎むようお願いします。

県内の感染状況

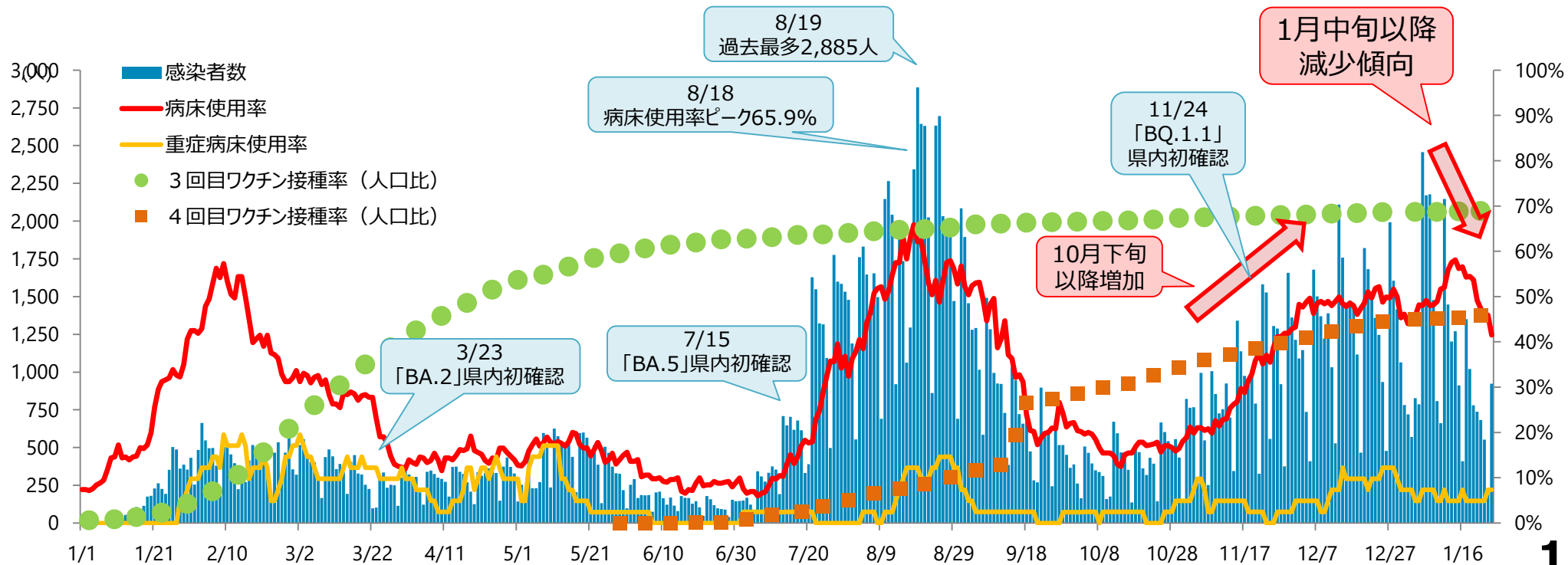
- ◎ **感染者数: 今月中旬 (約1万人/週) をピークに減少傾向 (現在 約4千人/週)**
病床使用率: 50%前後から 40%超まで減少

[感染者数] (ピーク) 1/11 : 11,896人/週 (現在) 1/26 : 4,277人 [病床使用率] 38.5% [重症病床使用率] 7.3%

- ◎ **インフルエンザ: 「注意報」発令中 患者数が増加傾向**

[定点医療機関当たり患者数] 1/16週 : 13.69人 (10人超 : 注意報) → 1/25 : 県「注意報」発令 (※R1以来3年ぶり)

新型コロナとインフルエンザの同時流行にご注意ください



医療・検査体制・ワクチン接種について



入院病床

最大確保病床 525床 ➔ **533床 (+8床)**

	最大確保病床数 (フェーズ5)	内 訳		
		南加賀	石川中央	能 登
現 状	525床	78床	353床	94床
拡充 (本日から)	533床	86床	353床	94床

無料検査

期間 1月31日まで ➔ **2月28日まで延長** (県内276薬局)

新型コロナ ワクチン

オミクロン株対応ワクチン接種率：40.8% (1/22時点)
➔ **県庁19階接種センター：毎週土曜 9時-17時**

インフルエンザ ワクチン

全国で過去最大の供給 (約7千万人分)
➔ **本県：現時点で約53万人分 希望者は早めの接種を**
(1月第2週時点)

◎ 新型コロナとインフルエンザ 両方のワクチン接種

◎ 抗原検査キット・解熱鎮痛薬の準備など 同時流行への備え

をお願いします

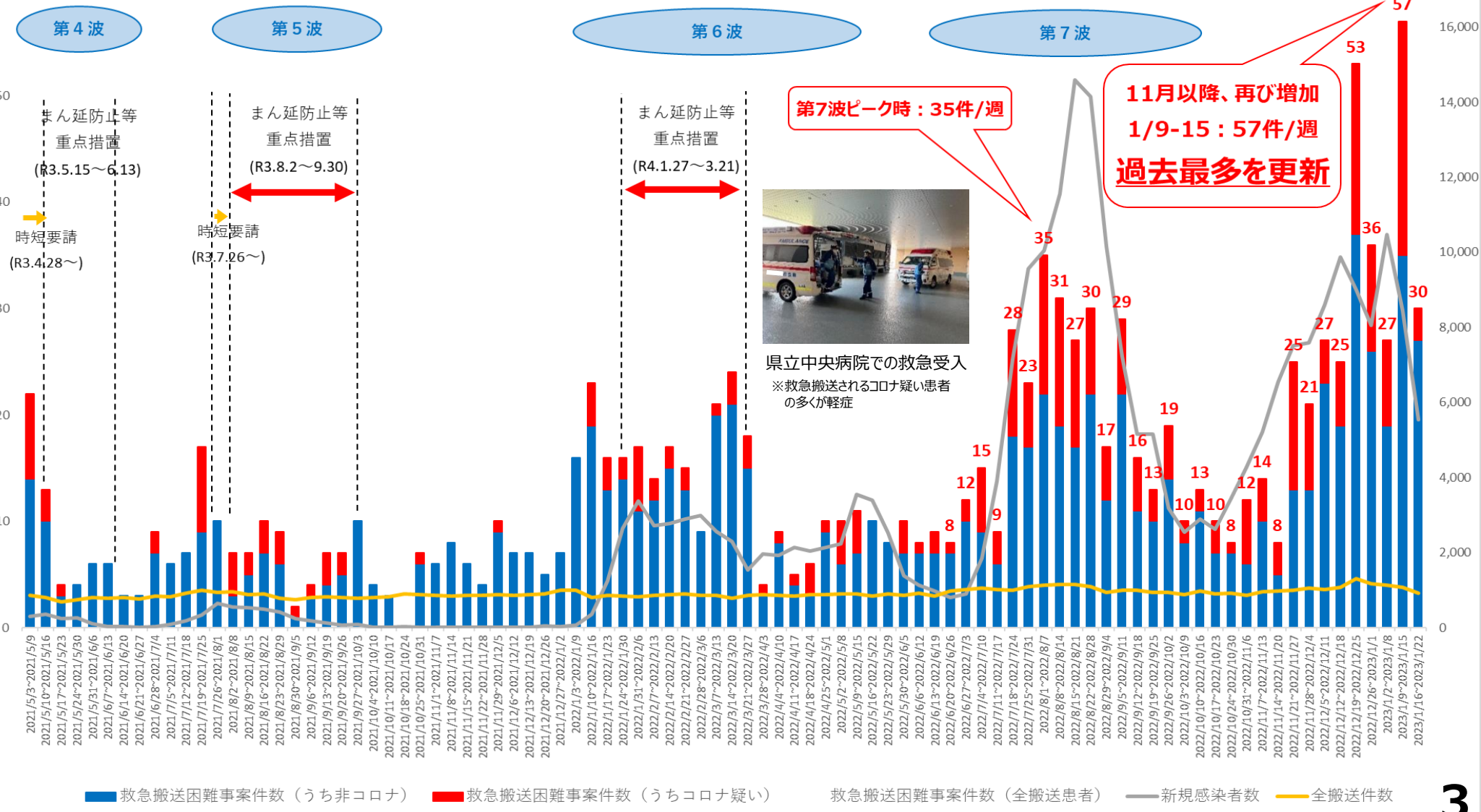
救急車の適切な利用をお願いします

石川県内における救急搬送困難事案件数の推移

救急搬送困難事案：「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

救急搬送困難件数 (件)

新規感染者数 (人)



救急車の適切な利用をお願いします



必要な方が救急医療を受けることができるよう

適切な受診にご協力をお願いします

緊急を要する場合（こんな時はすぐに救急車をご利用ください！）

- 呼びかけても 肩をたたいても **反応がない（意識がない）**
 - **けいれんが止まらない**
 - **呼吸がない** もしくは **呼吸困難な状態**
 - **激しい痛み（頭痛 胸痛 腹痛など）**
 - **大量の出血** もしくは **出血が止まらない**
 - **顔のゆがみ 上肢などの麻痺（腕や足が動かない）**
 - **舌のもつれ**
- 救急受診アプリ「Q助」（消防庁）
症状に応じた緊急度と対応が表示されます
https://www.fdma.go.jp/relocation/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app/kyukyu_app_web/index.html
- 医療機関を受診するか迷われる方は「石川県発熱患者等受診相談センター」まで
0120-540-004（フリーダイヤル）
24時間対応（土日祝日含む）
- 診療・検査医療機関はこちら
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html>



比較的症状が軽い場合

- まずは **かかりつけ医に連絡** をお願いします
 - 休日・夜間で **かかりつけ医が対応できない場合は** **休日・夜間応急診療所**や**在宅当番医** に連絡
 - **夜間小児救急電話相談** では小児科医や看護師が急病等への対処をアドバイスします
- お子さんの夜間の急病等の対処へのアドバイスは
#8000 又は
076-238-0099（午後6時～翌朝8時）